

狭山茶の信頼回復に支援

農林水産業

Q 狭山茶信頼回復・消費拡大事業費補助金の内容は。
A 狭山市茶業協会と一体となり、狭山茶の信頼と消費回復、拡大策に取り組む。

新しい西口の七夕まつりに期待

商工

Q 市民広場が開設され、新しい形で七夕まつりが期待されるが、どのような七夕になるか。花火はどうか。
A 市民広場を活用し、市内外にPRできるように、七夕まつり実行委員会を検討していきたい。花火は、実行委員会でも増やす

新狭山公園プールを解体

建設

Q 新狭山公園プール跡地は、どのように活用するのか。
A 運動施設が公園に併設されており、駐車場に活用する予定。
Q 市営住宅鶴ノ木団地の建て替え事業費に関連して、市営住宅の申し込みと待機状況は。
A 待機者は、19年度の55人から22年度は31人、23年度は15人になる見込みで、減少傾向にある。22年度は、さくら野団地の入居希望者が全体の3割を占めており、入居倍率は約7倍。

耐震補強工事とクーラー設置が進む

教育

Q 小・中学校の体育館の耐震補強工事と、校舎の除湿温度保持工事は、いつごろまでに全て終わるのか。
A 体育館の耐震補強工事は、24年に小学校3校、中学校1校で工事を実施し、27年度末までには全校の耐震化を完了させる予定。除湿温度保持工事は、防衛省の補助を受け、24年度には山王・広瀬小学校で実施する予定。27年末には全小・中学校の冷房化を完了させたい。

は、アルファ米120箱、カンパン150箱、粉ミルク26箱を購入する予定。

医療と福祉の充実を

◆平成24年度国民健康保険特別会計予算
 《総員賛成で原案可決》
Q 特定健康診査の目標受診率は65%だが、今までの受診率は。
A 22年度が41・5%、23年度は1月25日現在で33・8%。目標の65%には届いていない。



窓口業務を委託化

◆平成24年度水道事業会計予算
 《17人賛成で原案可決》
Q 水道料金が払えない低所得者、生活困窮者への対策は。
A 福祉事務所との連携を十分にしていきたい。
 反対討論 高橋フランク久美子議員

市民交流センターなど 39億円で取得

財産の取得

◆狭山市駅西口再開発事業の公益施設を取得するもの
 《17人賛成で原案可決》
Q 取得する公益施設の土地と建物の取得金額が原価となる理由。
A 市と都市再生機構で締結した基本協定書と覚書の中で、市が原価で取得することになっているため。

会議録が閲覧できます

議案質疑と一般質問の内容をお知りになりたい方は、会議録をご覧ください。第1回定例会の会議録は、市役所行政資料室、公民館、図書館で5月下旬からご覧いただけます。また、市議会ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.city.sayama.saitama.jp/gikai>

消防

Q 消防団員が集まりにくい状況の中、報酬を引き上げることも含めて検討が必要ではないか。
A 消防団員の報酬は、9年に改正して以来、15年が経過している。今後、近隣の状況、消防団の意向も視野に入れながら検討する必要があると考えている。
Q 備蓄倉庫に貯蓄している非常食は、何日分で何食あるのか。
A アルファ米などを7万5千食備蓄している。24年度予算で

Q 公民館の空調工事と耐震補強工事の進捗状況と、今後の計画は。
A 耐震補強工事の対象は、入曽・堀兼・新狭山・奥富・柏原・水富の6館。24年度には水富公民館で実施し27年度末までには全館の工事が完了するよう進める予定。空調機器改修は、24年度に水野・柏原公民館、25年度に富士見・奥富公民館で実施する予定。
 反対討論 高橋フランク久美子議員
 賛成討論 広森すみ子 議員
 新良 守克 議員

職員給与を引き下げ

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正
 《18人賛成で原案可決》
Q 今回の経過措置額の廃止で、狭山市の影響は。また、人事院勧告とおりの対応をとる理由は。
A 24年4月1日で、全職員の約21%が支給対象となり、その平均の経過措置額が約1万700円と見込んでいる。国家公務員と県では状況が異なり、当市は人事院が示す国の状況に近く、人事院勧告に準拠し速やかに職員の給与水準の是正を図る措置を講じる必要があるとした。

委員会提出議案

◆狭山茶の信頼と消費回復、そして更なる消費拡大を促進する決議(第一号)
 提出委員会 総務経済委員会
 《総員賛成で原案可決》
 その他の議案
 総員賛成で可決 ◆専決処分の承認 ◆固定資産評価審査委員会委員の選任(奥富和夫氏、須田芳昭氏) ◆農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区定数条例の廃止 ◆こども医療費支給条例及びひとり親家庭等

医療費支給条例の一部改正 ◆心身障害者医療費支給条例の一部改正 ◆土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正 ◆市営住宅条例の一部改正 ◆埼玉西部広域事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更 ◆平成23年度補正予算(狭山都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計、下水道事業会計) ◆平成24年度狭山都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計予算 ◆市道路線の認定・廃止(各1件) ◆17人賛成で可決 ◆平成23年度一般会計補正予算 ◆平成24年度下水道事業会計予算

狭山茶の信頼と消費回復、そして更なる消費拡大を促進する決議

本市特産の狭山茶は、永い歴史の中で先人達のためめ努力により生まれ、市を象徴する農産物として、その名声を全国に轟かせており、市民の誇りである。



しかしながら、昨年3月11日に発生した東日本大震災に伴う福島原子力発電所の事故による、放射能汚染で国の暫定規制値を超えた放射性物質が茶葉の一部で検出され、それ以降、茶の信頼性が失われ風評被害も伴って、狭山茶は、大きな打撃を受け、今まさに茶業経営は存続の危機にたたされている。

そこで、新茶の時期を迎えるにあたり、狭山市議会として、以下のとおり決議する。

1. 平成24年度産の狭山茶の安全を確認し、PRに努める。
2. 狭山茶の信頼と消費回復、そして更なる消費拡大については、行政・市民・事業者・各種団体等に呼びかけ、一丸となって取り組む。

討論

議案に賛成・反対します



◆平成24年度 一般会計予算

賛成討論(要旨) 志政会

▶経費の節減や事業の選択と集中などによる行財政改革の取り組みの効果が大きい。▶市民や市内事業所からの血税を大切にするという姿勢が伺え、誠実な取り組みを評価する。▶原発事故からの教訓が予算にも反映されており、市民の「生活」「健康」に不安を与えている問題への対応を確実に進めている。▶高齢者福祉の充実における、地域包括支援センターの人員増を評価する。▶土曜日の保育時間の延長は、仕事と子育ての両立支援において大変有効な策である。▶小・中学校の体育館耐震補強工事を4校、冷暖房工事を2校実施することで、子どもたちの安全で快適な学習環境の確保への取り組みを評価すると同時に、引き続き積極的に取り組まれるよう、要望する。▶市民が主役の、誰もが愛着がもてる地域づくりにむけての協働事業を期待する。

反対討論(要旨) 日本共産党

▶多額な税金が投入された西口事業。にぎわいづくりの具体策を求め。▶新しい中央公民館に無料駐車場がないことは問題である。▶職員が削減される一方で臨時職員が恒常化している。正規職員としての雇用を。▶保育所の給食提供は直営で行うことを求める。▶公立幼稚園が2園に減らされるが、3年保育や預かり保育の実施で、各地域に幼稚園を。▶消防広域化の準備が始まるが、狭山にとって消防力の低下にならないよう求める。▶狭山市は他市と比べて突出した基金を保有している。これらを活用して市民要望に応える施策の実施を求める。

反対討論(要旨) 無所属

▶現在の自治協力員報酬は、違法との判決があった。予算執行できないので、認定できない。▶広域消防組合による消防は、市民に利益が薄いので反対である。

◆平成24年度水道事業会計予算にも反対討論あり